

## 枚方市で新たにため池ソーラー<sup>®</sup>事業を開始

官民5者の連携で地元遊園地「ひらパー」に再エネを供給、地産地消の実現へ

株式会社環境資源開発コンサルタント（大阪市城東区、代表取締役 金城義栄、以下「ERC」）は、大阪府枚方市にある農業用ため池において、ため池ソーラー<sup>®</sup>発電所<sup>※1</sup>（水上太陽光発電所）を利用したオフサイトコーポレートPPA<sup>※2</sup>事業を開始します。本事業の本格始動に先立ち、当社は本日、京阪ホールディングス株式会社（以下京阪HD）および関西電力株式会社（以下関西電力）とコーポレートPPAの契約を締結しました。

### 本事業について

本事業は、ERC、枚方市、京阪HD、関西電力、枚方市招提土地改良区の5者で、令和6年4月に締結した「ため池を活用した再生可能エネルギーの地産地消に関する協定」に基づいています。この協定により、各社は連携を強化し、協力して再生可能エネルギーの地産地消を推進することで、脱炭素社会の実現と地域課題の解決に取り組んでいます。

上記のコーポレートPPA契約に基づき、ERCがため池ソーラー発電設備を開発・運営し、関西電力が小売事業者として、京阪HDの施設へ2024年度内に再エネ電力の提供を開始します。

具体的には、ERCが枚方市内の2カ所のため池に合計約4,000kWのフロート型太陽光発電設備を設置し、京阪グループが運営するひらかたパークおよびKUZUHA MALLに関西電力が再エネ由来の電力と環境価値を提供します。本件により、年間約2,700トンのCO2排出量が削減できる見込みで、ひらかたパークでは施設全体の消費電力の約6割を再生可能エネルギーで賄うこととなります。

また、本事業は経済産業省の「令和5年度補正予算 需要家主導型太陽光発電導入支援事業」に採択されており、8月から工事に着工します。

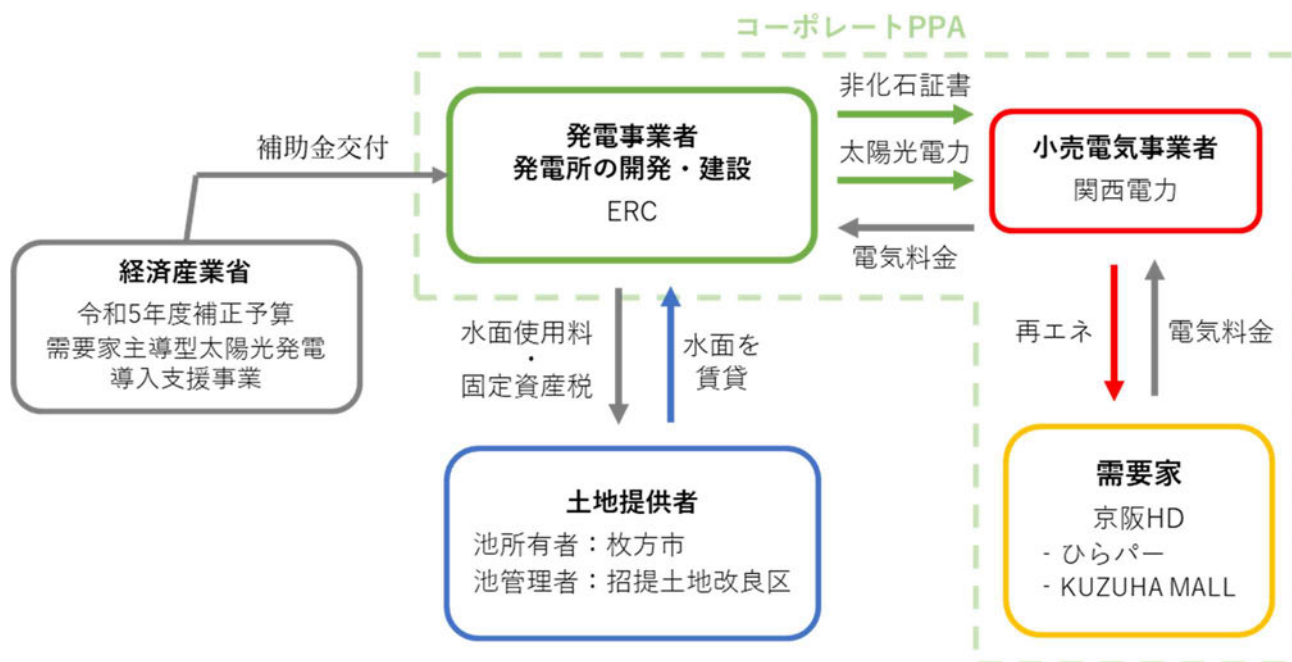
当社は、ため池ソーラー<sup>®</sup>の活用により、森林伐採などの土地造成を行わない太陽光発電でクリーンな電力を創造します。これにより、脱炭素社会の実現に貢献するだけでなく、後継者不足や高齢化によりため池の管理が困難になっている農家様に、ため池水面賃借料を支払うことで農業支援も行っています。今後も当社は、独自技術を駆使し、持続可能な社会の構築に努めてまいります。

※1：「ため池ソーラー<sup>®</sup>」は株式会社環境資源開発コンサルタントの登録商標です。

※2：「Power Purchase Agreement」（電力供給契約）の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法

※3：環境省「電気事業者別排出係数（令和4年度実績）」より算出

事業スキーム図



発電事業者	株式会社環境資源開発コンサルタント
小売電気事業者	関西電力株式会社
需要家	京阪ホールディングス
ため池所有者	枚方市
ため池管理者	枚方市招提土地改良区
発電出力	約4,000kW
供給開始時期	2025年3月(予定)



▲左から金城義栄 株式会社環境資源開発コンサルタント代表取締役、石丸昌宏 京阪ホールディングス株式会社代表取締役社長、伏見隆 枚方市長、柿木凱夫 枚方市招提土地改良区理事長、榎山実果 関西電力株式会社執行役常務ソリューション本部長代理

## 会社概要

■株式会社環境資源開発コンサルタント

所在地：大阪府大阪市城東区成育 3-16-16

代表取締役：金城 義栄

設立：2008年10月15日

事業内容：再生可能エネルギー発電所（ため池ソーラー）、企画、調査、計画、設計工事、維持管理、発電事業など

HP：<https://ercon.co.jp/>